

TWINCLE PROGRAM

学内外への波及効果について

TWINCLE (Twin College Envoys) Program とは

- 教育学研究科と他研究科の学生がユニットを組んでASEAN諸国に赴き、現地の小中高校で先生となって、世界に誇る各研究室の先端研究をテーマにした科学実験授業を実施。

科学・技術文化を通して日本を紹介

- いくつもの文化の壁を乗り越える体験を通してグローバル社会で活躍するリーダーとしての資質を身につける



Promote more exchanges
through
cutting-edge science research

TWINCLEプログラムにおける“2つ”の協働

千葉大学

(教育学以外の)
研究科

年間48名

+

教育学研究科

年間48名

=年間96名

科学トピック提供

教育学的知見

協働による教材・授業開発

派遣

ASEAN

ASEAN連携
小・中・高校

連携

ASEAN
協定大学

インドネシア
タイ
ベトナム
カンボジア
シンガポール

協働

教育体験
(SEND)

グローバルジャパンカリキュラム(単位認定)

■ 学内外での波及効果

- ① 日・ASEAN双方における全学的な国際研究
交流の促進
 - ▶ 留学生受入れ数が当初の目標の約**300%**を達成
 - ▶ ロングコース(研究交流)学生の数が年々増加、
分野も拡大
- ② シンポジウムやメディアおよび学会での
成果公表を実施
 - ▶ 他大学のみならず広く**社会に成果を公表**
- ③ 科学教育を通じた国際交流のノウハウを
生かし、**日本の学校でのツインクル活動開始**

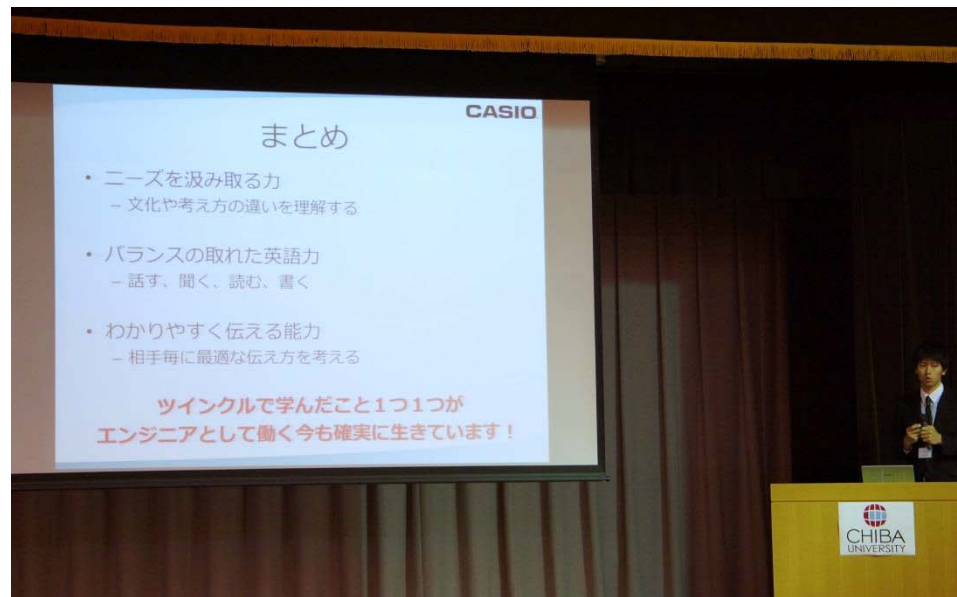
シンポジウムやメディアおよび学会での成果公表

○平成26年10月25日「グローバル社会の『要』としての教育」シンポジウム主催



○企業や学校で活躍する 経験者の講演

- ▶プログラムを通じて学んだ
「ニーズをくみとる力」
「バランスのとれた英語力」
「わかりやすく伝える能力」



○地域の学校関係者らによる講演

- ▶教育現場におけるグローバル社会への対応の重要性

科学教育を通じた国際交流

1. ASEAN留学生による高校での科学教育活動

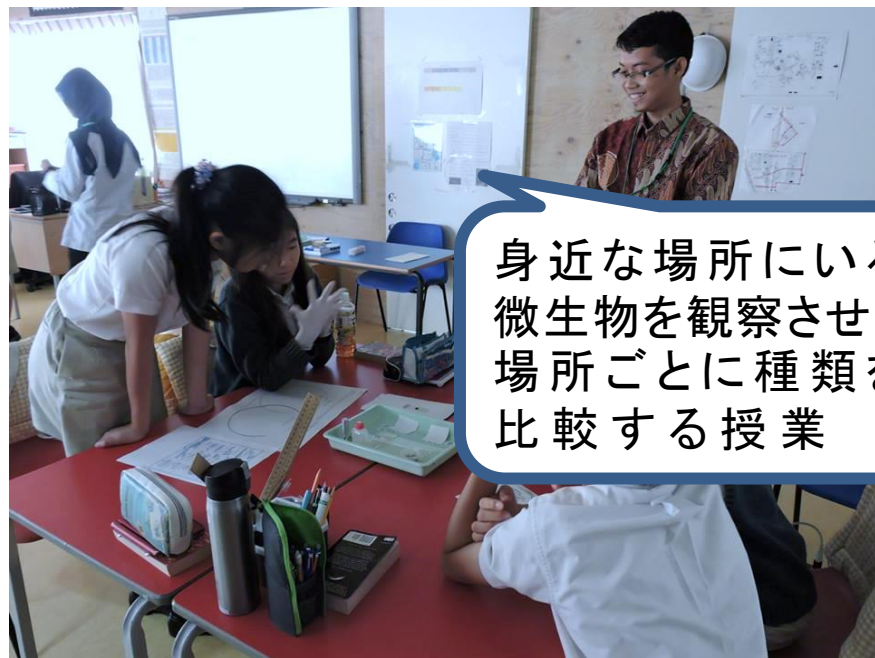
○高校教員の声「国際交流＝ESSなど特定の子、だけではない、もっと全校生徒を巻き込める国際交流の形である」



科学教育を通じた国際交流

2. 幕張インターナショナルスクール（小学校）での科学教育活動

○ ASEAN留学生「生徒にわかりやすく伝える経験は、自分の研究の芯を捉えなおす契機」





Thank you for listening